



「見える化」とっとり運動

(期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日)

鳥取労働局

- 安全の「見える化」とは、職場に潜む危険を可視化（見える化）し、これを活用して行う安全衛生活動です。
- 鳥取労働局では、県内の事業場が「見える化」に取り組むことによって、すべての労働者が安心して働くことができる職場を目指す『安全「見える化」とっとり運動』を展開しています。
- 労働災害の防止、死亡災害の撲滅に向けて、経営トップや労働者一人ひとりの安全に対する意識や危険感受性を高め、「誰もが安心して健康に働くことができる社会」の実現を目指しましょう。



「見える化」とは、
見えない **危険** を **可視化** する安全衛生活動です



フォークリフトの後方にトラロープを張り、トラロープまで振り向いて確実に後方確認することにした



階段に通行区分と、事故が起こりやすい最後の3段にカウントダウンを表示して注意を喚起しています



短期雇用の作業者がフォークリフトと接触する災害が発生したため、4つの色分けルールを決め表示した

	黄色に白枠線 →作業者通路
	緑色 →作業エリア
	明るいグレー →リフト専用エリア
	黄色と黒のシマモよう →危険ゾーン 手入れ禁止



行き先までの通路がわかるように、OKマットを黄色に塗装して鉄筋上の通路とした

(注)大阪労働局のHPから抜粋した「見える化」の事例です。

